

【様式4】令和5年度 長崎のもぎき恐竜パークにおけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	大成NOMONグループ	所管課名	南総合事務所地域福祉課、地域整備課、観光政策課、生涯学習企画課、生涯学習施設課
--------	-------------	------	---

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

(1) 恐竜パーク全体(所管:南総合事務所地域福祉課)

実施年月日	意見の内容	対応
令和5年7月	夏場は日陰がほしい。	利用者還元予算を利用し「熱中症対策」のためのテントやミストテントを設置した。また、インフォメーションセンター2階に休憩室があることを公式SNS等で発信して利用を促した。

(2) 恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(所管:生涯学習施設課)

実施年月日	意見の内容	対応
令和6年3月	ホームページのカレンダーがわかりにくい、休館日の記載があるのにワークショップや企画展の実施があるように記載しているので勘違いする。	より分かりやすい表示にするよう、HP管理会社に修正依頼した。

(3) 軍艦島資料館(所管:観光政策課)

実施年月日	意見の内容	対応
令和5年9月	企画展やセット券の料金設定がわかりづらい	券種を図解にして表示し、図を指しながら利用者へ案内を行うようにした。
令和6年3月	資料が少ないので、資料を増やしてほしい。子ども向けではない。	「バーチャル軍艦島」写真展(自主事業)の開催や、文化庁の補助金を利用した最新のデジタルコンテンツを導入した。デジタルコンテンツでは、コントローラーを使用し立体視の画面を操作するため、子どももゲーム感覚で利用している。

(4) 野母崎文化センター(所管:生涯学習企画課)

実施年月日	意見の内容	対応
令和5年9月	トイレが汚い。	日々の清掃を強化した。
令和6年3月	図書室はなぜなくなったのか、文化センターにあった方が便利だったのに。	長崎市の本の貸出、図書システムは利用できなくなったが、長崎市の古書店で恐竜や自然史を中心とした書籍を購入した。また、家庭で不要になった本の寄贈を募り旧図書室を「本の居場所」として整備した。

(5) 恐竜広場(こども広場、体育館、インフォメーションセンター) (所管:南総合事務所地域福祉課、地域整備課)

実施年月日	意見の内容	対応
令和5年6月	配送トラックの乗り入れが危険である。また、博物館横に車を横づけしているのを見るが乗り入れていいのか。	運送業者へ直接乗り入れないよう指導し、運転手へも口頭で注意するとともに、協力を呼びかけた。
通年	体育館の雨漏れがひどいので、改善してほしい。	長崎市へ状況を報告し、雨漏り箇所を特定するための調査を実施し、令和6年度に雨漏り箇所の修繕を実施することとした。
令和5年7月	これまでも満足していましたが、人が集まる起点となる観光案内所を常設し、食事処や宿泊についても案内したらいいのでは。	インフォメーションセンターの機能をより強化するとともに、地域の飲食店の最新情報をわかりやすく案内するようにした。
令和5年8月	遊具の足元のロープが危ない。	ロープの存在が分かり易いように、色が付いたテープ紐に変更した。

2 現地調査等の実施状況

(1) 恐竜パーク全体(所管:南総合事務所地域福祉課)

実施年月日	内容	特記事項
令和5年7月11日	アイランド長崎と連携強化を図るため、長崎市、指定管理者及びアイランド長崎とで連絡会議を開催した。	アイランド長崎の宿泊者に対する恐竜博物館のPRのため、優待券やオリジナルグッズ等の提供を行うことで、恐竜博物館の入館者も増加し、連携強化が図られた。
令和5年10月20日	市の担当部署及び指定管理者で「恐竜パーク連絡会議」を開催した。	施設の維持管理、運営、利用状況等の確認のほか、施設全体の課題認識と情報共有が図られた。また、屋内遊戯室の整備計画等について、指定管理者から意見を聞いた。

(2) 恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(所管:生涯学習施設課)

実施年月日	内容	特記事項
令和5年8月	恐竜博物館運営協議会で夏季企画展の視察を実施した。また、施設管理や利用者受付状況等を日々確認している。	特になし。

(3) 軍艦島資料館(所管:観光政策課)

実施年月日	内容	特記事項
随時実施	現地を訪れ、施設の管理状況や運営方針について確認を行った。	特になし。

(4) 野母崎文化センター(所管:生涯学習企画課)

実施年月日	内容	特記事項
随時実施	恐竜パーク連絡協議会開催時に併せて、施設整備等の確認や文化センター職員との協議や指導を行っている。	特になし。

(5) 恐竜広場(こども広場、体育館、インフォメーションセンター) (所管:南総合事務所地域福祉課、地域整備課)

実施年月日	内容	特記事項
令和5年6月13日	恐竜パーク体育館及びインフォメーションセンターの自主点検を実施した。	体育館の雨漏り対策として、令和5年度予算にて雨漏り箇所特定のための調査を実施した。
随時実施	職員が現地へ赴き、管理・運営状況のほか、施設管理の状況を確認し、指導を行った。	協議や現地調査を行うなど、緊密な連携が図られた。

3 その他のモニタリングの状況

(1) 恐竜パーク全体(所管:南総合事務所地域福祉課)

実施年月日	内容	特記事項
令和5年10月17日	各施設の市担当者が一同にモニタリングを実施 (内容) ・運営状況の確認 ・事業計画に基づく事業実施状況の確認 ・自主事業の実施状況の確認等	適正に管理されている。

(2) 恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(所管:生涯学習施設課)

実施年月日	内容	特記事項
毎週1回	恐竜博物館の運営や企画展実施等にかかる調整会議を実施した。また、月次報告書により運営状況を確認している。	特になし。

(3) 軍艦島資料館(所管:観光政策課)

実施年月日	内容	特記事項
随時実施	月次報告書の提出を受け、運営状況について確認を行った。	特になし。

(4) 野母崎文化センター(所管:生涯学習企画課)

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて実施	月次報告書により、毎月の利用状況や施設の維持管理等に関する確認を行った。	特になし。

(5) 恐竜広場(こども広場、体育館、インフォメーションセンター) (所管:南総合事務所地域福祉課、地域整備課)

実施年月日	内容	特記事項
令和6年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況の確認 ・事業計画に基づく事業実施状況の確認 	適正に管理されている。

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

(1) 恐竜パーク全体(所管:南総合事務所地域福祉課)

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、情報誌等への恐竜パーク記事の掲載 ・商業施設等での恐竜パークのPR活動 ・テレビやラジオでの恐竜パークの魅力紹介 	恐竜パークを広く認識してもらうための取組みで、評価できる。
通年	恐竜パークアンケート、恐竜博物館アンケート、軍艦島資料館アンケートの実施。	利用者の声を反映でき、サービス向上につながるものであり、評価できる。
随時実施	大型連休やイベント開催時等の駐車場での交通整理、臨時駐車場の確保等、交通渋滞緩和対策に努めた結果、大きな渋滞や事故もなくスムーズな運営が図れた。	利用者の安全対策及び周辺地域の交通対策として、高く評価できる。
令和5年8月～令和6年1月	恐竜パーク直行バス運行実証実験を長崎バス、長崎市、指定管理者の共同で行った。	新たな誘客手段の可能性を探るため実証実験を行い、結果として採算ベースに乗るような利用実績とはならなかったが、来館者数を高いレベルで維持していくための取組みであり評価できる。

令和5年7月～令和6年2月	恐竜パークでアンケートにご協力いただいた方や、イベント参加者等を対象にのん湯の入浴券と地域の飲食店等で使えるクーポン券を配布した。来訪者限定の付加価値特典となり、さらに地域の回遊性と経済効果を高めることに繋がった。また、地域の飲食店との連携も強化された。	地域産業の活性化にも繋がり、評価できる。
令和5年7月～令和6年3月	夏場の熱中症対策として利用者還元の予算を活用し、ミストテントの設置や、サーキュレーターの追加配置等を行った。また、次年度に向けてこども広場に新たに設置された、パーゴラにミスト装置を設置できるように配管等の整備、装置の購入を行った。	利用者の熱中症対策として、高く評価できる。
令和5年7月～令和6年3月	恐竜パークで企業等のイベントを開催したいとの相談・提案を受けて、博物館・資料館の見学やワークショップ(自主事業含む)の体験、体育館や文化センターのホールでのレクレーション開催等の複合施設としての強みを活かした受け入れを行った。	施設の総合的、一体的な活用は、恐竜パークの設置目的でもあることから、高く評価できる。

(2) 恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(所管:生涯学習施設課)

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
随時	・新聞、雑誌、Webサイト等へ恐竜博物館の情報を掲載 ・SNS、HP、Googleプロフィールによる企画展、ミュージアムショップ等の情報発信 ・TV番組、CM、ラジオ、各所へのチラシ配布による企画展の情報発信	博物館を広く認識してもらうための取り組みであり、評価できる。今後も、これまでの実績を検証しながら効果的な情報発信に努めてほしい。
随時	ミュージアムショップの商品入替、売り場展開を企画展や季節にあわせて随時見直した。	今後も利用者の視点にたった売り場作りに努めてほしい。
随時	団体旅行や個人の方を対象に夜間開館を実施した。	利用者の意見を聞くことで、サービス向上に繋がる取組みとして評価できる。
随時	希望団体へのガイドツアーを実施した。	利用者の満足度向上に寄与する取組みとして評価できる。

令和5年4～5月	自主事業として「ものづくりフェス」など体験型イベントコーナーを設け、賑わい創出を図った。	利用者の満足度向上に寄与する取組みとして評価できる。
令和5年8～9月 令和6年2～3月	常設展示室への誘導を図るために、自主事業として「対州馬のパネル展示」及び「恐竜絵画展」を開催し、賑わい創出を図った。	利用者の増加及び満足度向上に寄与する取組みとして評価できる。
令和5年10月～2月	夏季企画展3万人到達記念、また、季節の行事(正月、節分)に合わせて、それぞれ来館者へのプレゼント企画を実施した。	利用者の満足度向上に寄与する取組みとして評価できる。

(3) 軍艦島資料館(所管:観光政策課)

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
令和5年11月17日開始	前年度に開催し、好評であった「軍艦島クイズラリー」を出題内容を更新して開催した。全問正解者特典のオリジナルポストカードプレゼントも引き続き行った。以降、常時開催している。	新たな利用者層の定着や利用者の増加に寄与する取組みであり評価できる。
令和6年3月	「バーチャル軍艦島」写真展(自主事業)を開催した。	軍艦島の建物ごとの資料展示を含め、これまでなかったような展示方法であり、利用者の増加に寄与する取組みとして評価できる。
令和6年3月	文化庁の補助金を活用した「軍艦島 VR多言語解説整備事業」にて、最新鋭のデジタルコンテンツを導入し、「デジタルBOX 軍艦島」の運用を開始した。	利用者が通常立ち入ることができないエリアを含め軍艦島を体感することができ、利用者の増加に寄与する取組みとして評価できる。
随時実施	軍艦島クルーズ船各社との連携を強化した。受付でのクルーズ船各社の連絡先の案内やパンフレットの設置を行っているほか、クルーズ船欠航の場合の行先に資料館を紹介するなどの連携を行っている。	関連する民間事業者及び施設との相互連携が深まっており、利用者の増加に寄与する取組みとして評価できる。
通年	希望者へのガイドツアーを実施した。	利用者の増加に寄与する取組みとして評価できる。

(4) 野母崎文化センター(所管:生涯学習企画課)

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
令和5年6月開始	令和4年度で廃止となった旧図書室の活用と、地域の子ども達が本に触れる場所の維持、家庭で不要となった本の再活用を目的とした空間づくりを開始した。「本の居場所」として整備するため、本の寄贈の呼びかけと、市内古本店から恐竜や自然史を中心とした書籍を購入した。	旧図書室を活用し、地域の子どもたちの学習の場の環境づくりを進めていることは評価できる。
令和5年8月・10月	出張講演会を実施した。保育園や他の公民館へ講演会に出向き、恐竜の話しや、地域と連携した取り組みについての講話やワークショップを行った。	地域の子どもたちの学習機会の提供や地域の活性化に繋がる取り組みは評価できる。

(5) 恐竜広場(こども広場、体育館、インフォメーションセンター) (所管:南総合事務所地域福祉課、地域整備課)

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
通年	昨年度から開始した花の紹介プレートの設置・更新を行った。現在は、主要な植物には名前の他特徴などを紹介したプレートが設置されている。	パーク内の植物のPRができ、来場者の満足度向上につながる取組みであり評価できる。
令和5年7月16日(日) 令和6年1月27日(土)	「恐竜パーク園芸相談会」を開催した。植物の管理方法や剪定方法についての解説や参加者からの質問に対応した。	恐竜パークの魅力を高めるイベントであり、来場者の満足度向上につながる取組みで評価できる。
令和5年12月～令和6年3月	利用者還元の予算を活用し、東側水仙の丘麓にビニールハウスを整備した。ビニールハウスを活用して希少な植物の育成や、天候に左右されずに植物の観察会などを開催していく。まず令和6年3月には「パイナップルの植付体験」を開催した。今後定期的な観察会を開催する予定である。	今後、希少植物や野母崎地区特有の植物の発信につながる取組みであり、今後のイベント等の充実が期待できる。
令和5年4月29日～5月7日	ゴールデンウィークの賑わいを創出するため「謎解きクイズラリー」を開催した。クイズラリー参加者への賞品プレゼントの抽選会を、特別賞はFM長崎の生放送で行い、特別賞以外もSNSで動画配信を行い恐竜パークのPRにも繋がった。また、賞品は地域の飲食店等の商品券を設定するなどして、地域の回遊性とリピーターの獲得にも努めた。	恐竜パークの魅力を高めるイベントであり、来場者の満足度向上につながる取組みで評価できる。

令和5年10月29日	オープン2周年記念イベント「恐竜大運動会」を開催した(自主事業)。恐竜の着ぐるみを着用した参加者が徒競走や綱引きなどの競技を行った。開催後の反響も大きく、問い合わせや次回開催を望む声もあった。	来場者の参加型のイベントであり、来場者の満足度向上につながっており評価できる。
随時	地域の清掃活動への参加。田の子海岸で行われたビーチクリーン活動に恐竜パーク職員も参加した。また、恐竜パーク2周年イベントの際には、イベントの一部として海の清掃を参加者と一緒に行った。	恐竜パークのイメージアップにつながり、評価できる。
令和5年5月3日～5月6日 令和6年1月14日・21日・28日	自主事業の恐竜に乗って大冒険(GOGO恐竜ランド)を開催した。文化センターのホールで行い、雨天時でも子どもたちが楽しめるアトラクションとして楽しみを提供した。	集客向上につながるイベントであり、評価できる。
通年	地域と連携したイベント等(水仙まつり、伊勢エビまつり、タコまつり、ナナフェスなど)を開催した。一年を通して、長崎市南部地区の地域のイベントを主催団体との連携で、恐竜パークを会場に開催した。	地域連携で一体感が高まっており、野母崎地区の魅力向上につながっている。今後も継続し、充実していくことを期待する。
通年	引き続き、SNS(恐竜パーク公式Instagram)を活用して、一年を通して恐竜パーク内の様々な植物を紹介している。珍しい花の開花情報や、スイセンだけでなくサクラ・アジサイも定期的の開花状況を発信した。	集客を高めるための取り組みとして不可欠なツールであり、今後も継続し、充実していくことを期待する。
通年	水仙の維持管理、花苗の植栽を行った。また、景観を良くするために来場者の導線を中心とした剪定・伐採、子どもの転倒による怪我防止のためのクッション材替わりの植栽や、多客時に向け散策路の整備を強化し備えた。	恐竜パークの魅力を高める取組みであり評価できる。今後も来場者の安全に配慮しながら、四季で楽しめる環境整備をお願いする。

○施設利用者の状況

単位	人
----	---

(1)恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(所管:生涯学習施設課)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	22,426	31,260	17,245	21,677	37,694	16,099	20,501	18,194	13,250	11,179	5,547	8,099	223,171
令和5年度②	7,778	12,261	6,682	15,394	41,925	20,785	9,732	11,838	10,293	16,934	7,437	10,549	171,608
②-①	▲ 14,648	▲ 18,999	▲ 10,563	▲ 6,283	4,231	4,686	▲ 10,769	▲ 6,356	▲ 2,957	5,755	1,890	2,450	▲ 51,563

(2)軍艦島資料館(所管:観光政策課)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	2,539	2,943	1,372	2,562	4,253	1,985	2,462	2,187	2,165	4,382	2,566	3,373	32,789
令和5年度②	3,409	4,907	3,048	3,376	3,261	2,168	2,818	2,824	1,894	3,473	4,131	3,445	38,754
②-①	870	1,964	1,676	814	▲ 992	183	356	637	▲ 271	▲ 909	1,565	72	5,965

(3)野母崎文化センター(所管:生涯学習企画課)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	101	209	522	542	1,328	774	1,571	963	155	317	230	327	7,039
令和5年度②	79	1,826	1,043	491	1,265	258	1,262	912	359	489	234	392	8,610
②-①	▲ 22	1,617	521	▲ 51	▲ 63	▲ 516	▲ 309	▲ 51	204	172	4	65	1,571

(4) 恐竜広場

ア 恐竜パーク体育館（所管：南総合事務所地域整備課）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	1,198	1,417	1,164	1,118	806	1,206	1,950	1,361	515	1,126	687	1,414	13,962
令和5年度②	838	1,701	1,205	997	810	1,222	1,821	1,564	978	828	889	1,324	14,177
②-①	▲ 360	284	41	▲ 121	4	16	▲ 129	203	463	▲ 298	202	▲ 90	215

イ 恐竜パーク庭球場（所管：南総合事務所地域整備課）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	239	376	133	418	212	166	306	326	39	0	0	廃止	2,215
令和5年度②													0
②-①	▲ 239	▲ 376	▲ 133	▲ 418	▲ 212	▲ 166	▲ 306	▲ 326	▲ 39	0	0		▲ 2,215

ウ 恐竜パーク全体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度①	24,708	36,564	25,905	30,015	40,755	23,286	29,637	24,051	15,867	28,887	14,157	21,534	315,366
令和5年度②	18,552	24,204	15,708	19,239	38,970	25,959	26,325	23,313	15,339	36,957	16,560	17,868	278,994
②-①	▲ 6,156	▲ 12,360	▲ 10,197	▲ 10,776	▲ 1,785	2,673	▲ 3,312	▲ 738	▲ 528	8,070	2,403	▲ 3,666	▲ 36,372

総括コメント
※指定管理者に対する
市の評価等

1 長崎のもぎき恐竜パーク全体(南総合事務所地域福祉課)

恐竜パークのオープン以降、野母崎地区を訪れる方も増加し、地域振興に繋がっているところであるが、恐竜博物館の開館から2年4カ月が過ぎ、オープニング効果も収束してきている。このような状況のなか、来場者を高レベルで維持していくため、指定管理者においては恐竜パークを中心とした体験型旅行商品の開発への取り組みや、SNSを利用したPR活動、地域との連携による恐竜パークでの各種イベントの開催など、集客増に努めており、高く評価できる。

また、市としても、バス事業者及び指定管理者と共同で直行バス運行の実証実験を行うとともに、恐竜パーク周辺活性化策検討委員会を立ち上げ、活性化策を取りまとめたところであり、令和6年度以降は活性化策をもとに指定管理者と一緒に新たな事業にも取り組んでいきたい。

2. 恐竜博物館(ベネックス恐竜博物館)(生涯学習施設課)

入館者数について、指定管理者が目標とする170,000人を上回る171,608人となったことは、企画展やワークショップ等の実施が奏功したものと評価できる。

有資格者の配置に関しては、学芸員の退職による不在期間が5ヶ月に及んだ。学芸員は、企画展の企画や学習活動支援等で中心的役割を担う職員であることから、今後はこれまで以上に人事管理に努めていただきたい。

3. 軍艦島資料館(観光政策課)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、観光需要も高まり、令和4年度比で5,965人増加し、計38,754人となり、コロナ禍前H28～H30の利用者数平均18,985人を大きく上回っている。

恐竜博物館開館後、恐竜パークとしての一体的な管理により、恐竜博物館との共通チケットの販売などの取り組みが行われており、この取り組みにより増加した利用者の多くが子育て世代であり、新たな利用者層の拡大に繋がっているとともに、これらの利用者層に対応したクイズラリーの実施のほか、新たなデジタルコンテンツの導入などの取り組みが行われており高く評価できる。

当該施設は、上陸観光用の観光船が端島見学施設へ接岸できない時の代替施設としても機能しており、引き続き、端島の魅力や価値を発信することはもとより、恐竜パークとの相乗効果を図る取り組みに努めていただきたい。

4. 野母崎文化センター(生涯学習企画課)

野母崎文化センターについては、講座は概ね計画どおり開催しており、利用者数は1,571人の増となっているが、利用者増の主な理由としては、恐竜パークのイベントでの利用によるものである。旧図書室の活用については、今後、利用者が気軽につどい、学べる場所となるよう取組んでほしい。引き続き恐竜パークや地域と連携した講座等の開催により、地域住民の生涯学習の推進に努めていただきたい。

5. 恐竜広場(南総合事務所地域福祉課・地域整備課)

水仙の丘、こども広場、インフォメーションセンターの維持管理については適切に行われている。一方、体育館については、雨漏りにより利用が制限される事態が発生しており、市としても早急に修繕を実施し安全な利用促進を図って行きたい。

また、ツツジ、アジサイ、ハイビスカス、スイセンなど、四季折々の花木の開花状況をSNS等で発信するなど、恐竜パークの新たな魅力創出にも期待ができ高く評価できる。今後も情報発信、維持管理を続けていき、満足度向上に努めていただきたい。